

留 学 報 告 書

記入日:2015年8月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部政治学科
留学先国	中国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 華東師範大学 現地言語: 华东师范大学
留学期間	2014年9月～2015年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	人文社会学部
帰国年月日	2015年7月29日
明治大学卒業予定年	2017年3月



留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9 月中旬～1 月下旬 2 学期:3 月上旬～7 月上旬
学生数	23,000 人
創立年	1951 年

留学費用項目	現地通貨 (円)	円	備考
授業料		円	留学先の授業料免除
宿舍費	10,000	200,000円	関行:1日35元 長期休暇の保留日1日15元
食費	11,000	220,000円	
図書費	500	10,000円	
学用品費	1,000	20,000円	
教養娯楽費	10,000	200,000円	
被服費	1,000	20,000円	
医療費		円	学校の医務室のみ
保険費	50,000	100,000円	形態:明治の保険のみ加入
渡航旅費	50,000	100,000円	
雑費	5,000	100,000円	
合計	138,500	880,000円	

渡航関連

渡航経路:飛行機

渡航費用

チケットの種類	e チケット
往路	40,000円
復路	60,000円
合計	100,000円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

スカイゲート、携程

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

大学の宿舍

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

留学先事務室の手配

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

一人部屋で浴室とベランダ付きです。私の部屋は出ませんでしたが、虫が出る部屋もありました。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった
 利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

窓口はないので、個人的に留学生担当の先生や学部の補助員に相談した。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

知人からの情報等。対策は夜に一人で出歩かないこと。実際に被害はなし。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ポケット wifi を使用していた。本体は200~400元程度、容量のカードは G によって値段が異なる。全てネットで購入可能。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の口座を開設、パスポートがあれば誰でも開ける。銀行カードでスーパーでの買い物もできる。銀連であれば日本のセブンイレブンから取引可能。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

進路について

1) 進路

- 就職 進学 未定 その他: 卒業を1年延ばして、5年目に就活予定

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

ゼミの先生や家族との相談

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

4年の夏休みに帰国することになるので就活は難しいと考え、ゼミの先生や家族と相談の上、4年の後期を休学し、語学の向上や旅行・ボランティア等に充てる予定です。5年生から復学し、一つ下の代として就活をしようと考えています。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
8単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません (理由:卒業単位数に余裕があるため)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
国際政治学		国際政治学
科目設置学部・研究科	政治学系	
履修期間	2014/9~2015/1	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義	
授業時間数	1週間に90分が1回	
担当教授	张丽君	
授業内容	国際政治学の基本概念を事例を交えながらパワーポイントで説明	
試験・課題など	中間レポートと期末試験	
感想を自由記入	先生がやさしい方で期末テストは特別に電子辞書を持ちこみ可にしてくださいました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
中国外交		中国外交
科目設置学部・研究科	政治学系	
履修期間	2014/9~2015/1	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義	
授業時間数	1週間に90分が1回	
担当教授	陆钢	
授業内容	毛沢東と周恩来の外交政策について	
試験・課題など	中間レポートと期末試験	
感想を自由記入	先生は留学生に優しいです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
中国文化专题		中国文化專題	
科目設置学部・研究科	中国语言文学系		
履修期間	2014/9~2015/1		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	呂志峰		
授業内容	近現代の中国文化について		
試験・課題など	中間レポートと課題		
感想を自由記入	留学生には難しそうです。期末試験は辞書持ち込み不可。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
东亚政治		東アジア政治	
科目設置学部・研究科	政治学系		
履修期間	2015/3~7		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	叶淑兰		
授業内容	日中韓北について		
試験・課題など	期末試験		
感想を自由記入	領土等の問題にも触れます。現地の考えを知れる貴重な体験だと思います。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2014年 1月～3月	学内選考 健康診断、願書提出等
4月～7月	奨学金申請 ビザ取得
8月～9月	渡航 授業開始
10月～12月	留学生運動会 各国の料理パーティー 中間レポート 杭州旅行
2015年 1月～3月	期末テスト 北京・青島・成都旅行 後期開始
4月～7月	西安・広州旅行 インターン開始 期末テスト 雲南旅行 帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	中国語はいつか勉強したいと思っていた言語だったため。長期留学は大学のうちにしかできない訳では決まっていと思いますが、やはり大学は絶好の機会だということ、そして何よりも外国という非日常の環境の中で、様々な価値観を知りたかったのが一番大きいです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学をしたいと漠然とでも思っていたら、語学の勉強は早めに始めることをお勧めします。HSK も年に数回しかないので、早くとるに越したことはないと思います。留学するにせよしないにせよ、資格として役に立ちます。それから語彙を増やしておけば、現地に着いてから楽だと思います。物の心配は基本的にしなくて大丈夫です。上海は日本人が大勢いるので、日本食にも日本の製品にも困ることはないです。
この留学先を選んだ理由	上海に親戚がいたので、都市は初めから決めていました。華東師範は上海で TOP3に入るか入らないか、というところだと思います。上海交通大学は理系が強く、華東師範大学は文系に長けているので、参考してみてください。
大学・学生の雰囲気	私は一年間閑行キャンパスで過ごしましたが、キャンパス内の設備はということなしです。教室は明治のものに似たような感じで、運動施設や学生の集う場所も完備されていて売店も多く、食堂は4つあります。図書館は明治ほど蔵書量はない印象で椅子も少ないですが、キャンパス自体が新しく建てられたものなので、全ての施設の使い勝手は基本的に良いです。学生は日本人とわかると積極的に友達になってくれます。仲良くなると、学習面でも生活面でもたくさん面倒を見てくれると思います。先生も基本的に留学生に寛容です。
寮の雰囲気	留学生寮は一旦キャンパスを出て信号を隔てた場所にあります。エレベーターなしの6階建てで全て一人部屋、ベランダとトイレ・浴室付で広さは十分です。留学生寮のイベントは豊富で、BBQ パーティーや餃子パーティー、自分の国の料理を持ち寄り、毎週日替わりで仏語・英語・日本語・ラテン語等を学生同士で教え合う等があったので、留学生との交流はたくさんあります。寮から出たすぐの場所に食堂とスーパー、ATM 等何でもあるので、生活には困らないです。閑行は市内から 2 時間ほどの場所にあり、ご飯屋さんも数件しかありません。市内へ行くにはスクールバス、もしくは寮から歩いてすぐのバス停を利用します。
交友関係	留学生寮はキャンパス外にあり、中国人寮と少し距離があるので、気軽に食堂でご飯とはなりにくかったです。私は留学生との交流の方が多かった気がします。中国人の同級生とは出かける約束をして、遊びに行くという感じでした。交換留学生はクラスに割り振られるわけではなく、私の学部は履修も完全自由だったので、最初は完全に一人で突入することになります。各学部にも補導員という学生の面倒を見てくれる方がいますが、忙しいと相手にされない場合もあるので、その他に早めに学生の友達を見つけて履修登録等を手伝ってもらおうと安心です。サークル活動は割と自由で、入部期間を延ばしてもお願いすれば入れてくれる所が多いと思います。
困ったこと、大変だったこと	ほとんどの留学生は中山キャンパスで学ぶため、閑行キャンパスの学生は常に情報を自分で入手しなければいけません。私は初め中山キャンパスの資料を渡されており、中山よりも閑行の方が始業式やガイダンス等の日程が早いため、危うく出席しそびれるところでした。また、学部の事務室に行ったら交換留学生が来るという情報は入っていない(留学先国際事務室から学部事務室に連絡がいついかなかった)と言われ、最初学生証の発行ができないと言われました。現地に着いてから問題に直面することも多いので、日程には余裕をもって行かれることをお勧めします。居留許可は学校が団体で手配してくれますが、それも全て中山で行われるため、早めに情報を確認しておいた方がいいでしょう。
学習内容・勉強について	どの教授も毎授業の情報量が膨大で、且つ学生もまじめなので、ついていくのがやっとでした。始めはレジュメやパワーポイントを理解するだけで一日かかりましたが、次第に慣れてきます。授業内で討論し、発表するという形式を多くの先生がとっていました。討論の場では、日本人としての観点や意見を求められるので気が抜けませんでした。しかし、今中国の大学ではどんな教育がなされていて、同年代の学生がどんな思考をしているのかに触れられて、とても貴重な体験ができました。初回の授業で、先生の机にテープレコーダーを置いていいか聞いて、毎授業録音していました。そう願うことで挨拶もでき、留学生と認識してもらえるので、以降もやりやすくなりました。

課題・試験について	私の履修した授業がたまたまそうだったのかわかりませんが、課題はあまり多くはありませんでした。しかし、外国語でレポートを書くという行為は思ってるよりもずっと時間がかかりました。試験は二時間で、A4 裏表を埋めなければいけません。先生によっては電子辞書の持ち込みを許可してくれますが、試験中は意外と時間がないのでゆっくり調べている時間はないです。必修は資料持ち込み不可が多く、選択は資料持ち込み可が多かったです。試験中に文法等を考えている時間はないので、レポートの際に練習しておくといいかもかもしれません。
大学外の活動について	後期からは友人の紹介で、日系企業で週に 2 回インターンを始めました。こちらでのインターンは日本で探すよりも難易度が低いと思うので、就職を希望している人にはおすすです。現地で働く日本人と知り合えること、日本と現地のビジネスの差を学べるチャンスです。私は始めてからより一層中国や中国人への理解が深まったように感じます。
留学を志す人へ	色々長く書きましたが、実際には上海に来る前は大した勉強もせずに、最低限の手続きだけして行きました。着いた後は何度か問題はあったものの、毎回なんだかんだ解決できました。環境によって自ずと人に助けを求めたり、情報収集をしたりと問題解決能力が身についた気がします。一番大変なのは留学をしようと決意すること、そしてそれを行動に移すことかもしれません。行く前には色々不安があるかと思いますが、意外となんとかになって、杞憂に終わることが多いです。見聞を広げ、可能性を広げてくれるまたとないチャンスです！是非留学を利用して、人生を豊かにしてください！

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		講義					
			部屋掃除	講義	復習		
午後	講義		復習				
					市内の友人宅へ	親せき宅へ	閑行へ戻る
夕刻		友人と出かける	復習				
夜							